

九月十九日（木）

「口数少なく黙々と」

3連休中に、マラングランドチャンピオンシップ（MGC）が行われました。女子優勝の前田穂南選手は、中学1年の頃1500メートル走で5分を切れず、悔しくて一人で泣いていたそうです。朝練も欠かさず、学校の内外をいつも黙々と走る。口数は少なく、練習に打ち込む姿。「この子は強くなる」と中学時代の監督は思ったそうです。前田選手が好きな言葉に挙げていたのが「継続は力なり」。

「走ることが好き」でコツコツと努力してきた彼女は、高校時代の駅伝では補欠だったそうです。補欠からオリンピック出場へ。継続は力なりです。